

第8次氷見市総合計画 目指す都市像（案）

「人と自然と食がきらめく交流都市 ひみ」

※「人」が氷見の宝。「自然と食」が氷見の宝。氷見の宝を活かしたまちづくりをイメージしたもので、それぞれが光り輝き、関わり合いながら、地域力発揮や300万人交流などを目指す。

<参考>

「～ふれあい・ささえあい～ ^{しあわせ}幸福都市 ひみ」

※「ふれあい」は観光を中心とした交流のまちづくり、食や伝統文化等をきっかけにした市民のふれあい、「支えあい」は協働のまちづくり、地域福祉の向上をイメージしたもので、氷見市で暮らす人、氷見市を訪れる人全てが、身も心も満たされる都市を目指す。

「～暮らし、人、元気～ 心をつなぐ共感都市 ひみ」

※第8次総合計画の施策の大綱（暮らし・人・元気）を取り入れたもの。共感とは、「心がかよいあうことにより、人、地域、都市をつなぐ」ことで、心の交流や地域力の発揮、300万人交流などを目指す。